

令和 8 年度

仕 様 書

事 業 名： 公共下水道事業

工 事 場 所： 竹原市

工 事 名： 中央第 2 雨水排水ポンプ場受電設備更新工事

工 事 概 要： 柱上気中負開閉器 N= 1 台
ミニ UPS N=1 台
UPS 電源分岐版 N= 1 面

【添付書類】
☐特記仕様書
☐工事数量総括表
☐図面 等

総 則

第 1 節 一 般 事 項

1. 適用範囲

本仕様書を竹原第2雨水ポンプ場電気設備整備工事に適用する。法令、その他特別に定めるものの他は、全て電気設備工事一般仕様書〈最新版〉（以下「一般仕様書」という。）に準拠し、一般仕様書、設計図面及び仕様書に記載されていない事項及び詳細については、全て監督員の指示によるものとする。

2. 工事名称

中央第2雨水排水ポンプ場受電設備更新工事

3. 工事場所及び工期

- (1) 工事場所 竹原市中央四丁目 地内
- (2) 工 期 契約日より令和9年3月15日

4. 工事施工基準

本工事に使用する機器材料ならびに施工基準については、下記諸規格、基準規則等を適用する。

- (1) 日本工業規格（J I S）
- (2) 電気学会電気規格調査会標準規格（J E C）
- (3) 日本電機工業会標準規格（J E M）
- (4) 日本電線工業会標準規格（J C S）
- (5) 電気設備技術基準 通産省令
- (6) 建築基準法関連の保安規定
- (7) 消防法及び消防条例
- (8) 電気供給会社の定める関連約款、基準
- (9) 労働安全衛生規則
- (10) 計量法、その他関連法規
- (11) 日本下水道事業団電気設備工事必携
- (12) 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
- (13) 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）
- (14) 電気設備工事監理指針
- (15) 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
- (16) その他特に指定する事項

5. 現地調査及びシステム設計

既設機器に関する資料の収集及び現地調査は、受注者が責任を持って行うものとする。

また、関連する他工事（機械設備等）との取り扱い確認を経て、施設に合った（将来設備分を含む。）最適な機器・材料を選択し、システムとして整合性をはかるなど当該施設に最適なシステム設計を行い、監督員に提案・承諾を得ること。

6. 手続きの代行

受注者は、本工事に関して監督官庁、電気供給会社及びその他手続きを要する事項について、図書の作成とすべての手続きを当市に代わって行うものとする。

なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

7. 製作、着工

受注者は、契約後速やかに本仕様書及び設計図に基づいて工程表及び承諾図を作成し、監督員に提出して承諾を受けること。

8. 承諾

機器等は、本仕様書、設計図及び設計書に準拠し、監督員が承諾した承諾図により正確丁寧に製作すること。また、購入品については、仕様書に監督員の承諾を受けてから購入すること。

機器製作及び購入品については、本工事機器仕様書と同等以上の能力を有した機器としての納入実績が豊富で、その性能、信頼性等のあることを重視し、これと同等以上と当市が認めるものに限る。

9. 施工責任

本仕様書及び設計図に明記がなくとも、本設備の目的機能上または施工上当然必要とするものは、監督員の指示に従い受注者の負担で処理しなければならない。

10. 提出書類

受注者は、以下の関係図書を監督員の指示に従って提出すること。

（提出部数は監督員の指示による。）

- (1) 着工届、工程表、完成届
- (2) 建設業退職金共済掛金収納書・法定外労災補償加入証明書 添付用紙
- (3) コリンズ登録関係書類
- (4) 実施工程表及び承諾図・施工図
- (5) 施工計画書
- (6) 施工体制台帳
- (7) 火災保険等の保険証書（1部）

契約後速やかに担当技術者を派遣し、仕様細目及び工程その他について監督員と詳細な打合せの上、実施工程表及び承諾図・施工図を作成して提出すること。

受注者は、工事目的物及び工事材料等を火災保険等に付さなければならない。保険の加入時期は、原則として工事着手の時とし、終期は工事完成後14日とする。

- (8) 決定図及び確定仕様書

(9) そ の 他

- a) 完 成 図
- b) 機器、装置の試験成績表
- c) 耐圧試験、絶縁試験成績表
- d) 運転管理に必要な取扱説明書
- e) 保守管理のための保守要領書
- f) 付属品、予備品の明細書
- g) 工事写真、完成写真、工事日報、材料調書

11. 現場代理人及び主任（監理）技術者

受注者は、現場代理人及び工事主任（監理）技術者を選定し、書面をもって届け出ること。

12. 専門技術者の派遣

現場組立には、熟練した専門技術者を派遣して、管理指導を行い工事の円滑な進捗に努めること。

13. 検 査

(1) 工場検査

主要機器については、完成後その製作工場に於いて、監督員が立ち会って、適用規格基準に基づいて立会検査を行う。

但し、何等かの都合でこれを省略する場合は、現場据付後これに代わる検査を行う。

(2) 中間検査

工事完了後では容易に点検できない部分については、その都度監督員の検査を受け、これに合格した後に次に進むものとする。

(3) 出来高検査

中間出来高を確認する必要がある場合、監督員は随時これを行う。

この場合、受注者は資料の提出、その他全面的にこれに協力しなければならない。

(4) 完成検査

本工事が完成した後、速やかに本市技術管理課検査室の検査を受けられるよう手続き及び検査の準備をなし、検査員、監督員、担当主任（監理）技術者、現場代理人など関係者立会いの上で所定の検査を受けるものとする。

なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

(5) 官庁検査

本工事が完成した後、速やかに所管官公署の検査を受けられるよう、諸手続き及び検査の準備をなし、官庁検査官、監督員、工事主任（監理）技術者、受注者など関係者立会いの上、所定の検査を受けるものとする。

なお、これに要する費用はすべて受注者の負担とする。

14. 検 収（受渡し）

前項の検査に合格した上、さらに、施工の適否及び体裁などについての全体検査を確認して受渡しを行う。

15. 保証及び保証期間

本設備の保証期間は受け渡し後満1年とし、保証期間内に受注者の責任とみなされる原因によって事故（破損、変質、性能低下等）が生じた場合、受注者は、無償で当市の指定する期間内に、改造補修または新品と交換して完全に修復しなければならない。

16. 補 修

本工事の施工に当り、他の建造物等を破損した場合は、監督員の指示に従って完全に修復すること。

17. 安全対策

本工事の施工に当たっては、労働安全衛生規則を遵守し、就業者に対して常にこれを徹底させると共に安全作業に対する十分な施策をなし、安全責任者を定めてこれを管理しなければならない。

18. 仮 設 物

- （１）本工事に必要な仮設物（詰所、工作所、材料置場）は、すべて受注者の負担で準備する。
- （２）場内に仮設物を設ける場合は、事前に監督員の許可を受け、その指示に従って設置すること。
- （３）工事用の水、電力、電話設備等は、すべて受注者の負担とする。

19. 荷造り及び輸送

荷造りは厳重に施し、防湿を完全にして、天地無用のものはその旨を明記し、適当な転倒防止の方法を講ずること。

なお、荷造り梱包には、内容の品名、数量等を外箱に明記すること。

20. 機能増設

機能増設にあつては、既設設備との互換性、拡張性等に支障を生じない機器を選定し、ひとつの維持管理システムの関係構築する。

21. 工事实績情報の作成、登録について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額（消費税含む）が500万円以上の工事について、受注時・変更時及び竣工時に工事实績情報システム（以下「コリンズ」という。）に登録用データを入力の上、確認用帳票を市の工事施工担当課（以下「担当課」という。）に提出し、登録内容の確認を受けなければならない。

受注者は、担当課の確認を受けたのち、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、竣工時は工事完成後10日以内にコリンズへ工事

実績を登録しなければならない。

また、登録完了後直ちにコリンズからダウンロードした「登録内容確認書」を監督員に提出しなければならない。

なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

設備仕様

1.1 受変電設備

受変電設備は、下記のとおりとする。

- ☐ 1

特高受変電設備

定格電圧

☐ 77kV

☐ 66kV

☐ 33kV

☐ 22kV

操作電圧

☐ AC 100V

☐ DC 100V

☐ (1) 気中絶縁方式

☐ (2) ガス絶縁方式

☐ 屋内

☐ 屋外

☐ 屋内

☐ 屋外

☒ 2

高圧受変電設備

定格電圧

☒ 7.2kV

☐ 3.6kV

操作電圧

☒ AC 100V

☐ DC 100V

☐ (1) 金属閉鎖形スイッチギヤ

☐ (2) 高圧コンビネーションスタータ
(電動機運転用は除く)

☒ (3) 新M形受変電設備
(新M形受変電設備は、小規模処理場用受変電設備である。)

☐ 屋内

☐ 屋外

☐ 屋内

☐ 屋外

☒ 屋内

☐ 屋外

☐ 3

低圧受電設備

4 その他

- (1) 電力供給会社

中国 電力(株)
- (2) 周波数

☐ 50Hz

☒ 60Hz
- (3) 遮断器の過電流整定値等は電力会社と協議の上、保護協調のとれた適正な値に整定する。
また、遮断容量、ケーブルサイズ、過電流設定値(トリップ値)等の整合を図る。
- (4) 消防用負荷設備

☐ 有

☒ 無
- (5) 非常用電源専用受電設備

☒ 有

☐ 無
- (その範囲ならびに盤構造等は、所轄消防署と協議する。)

特記事項
PAS、引込柱及び引込ケーブルを更新する。 引込ケーブルは「E-E」タイプとすること。

1.2 高圧受変電設備

高圧受変電設備は、以下のとおりである。

1 新M形受変電設備

項 目	仕 様	備 考
1) 信号ランプ・警報回路	☐ AC100V ☐ DC100V	
2) その他		

2 避雷器（高圧用）

項 目	仕 様	備 考
1) 形式 酸化亜鉛形	☐ 盤内設置形 ☐ 引出形 ☐ 固定形（新M形受変電設備） ☐ ☐ 柱上設置形（固定） ☐ 一般形 ☐ 耐汚損形 ☐	

3 引き外し形高圧交流負荷開閉器（PAS）

項 目	仕 様	備 考
1) 材質	☐ 鋼板製 ☒ ステンレス製（塩害対策）	
2) 保護継電器取付場所	☒ 受電盤（引き込み盤） ☐ 柱上（ステンレス製屋外収納盤（パッキン付）・鍵付）	
3) その他	PASからSOG制御装置間の距離 約（ 98 ）m	

1.3 特殊電源設備

特殊電源設備は、以下のとおりである。

項 目	構 成	仕 様	蓄電池 放電時間 (定格容量)	備 考
☐ 直流電源装置 (盤番号)	今回 組 全体 組	高調波対策 ☐ 有 (PWMコンバータ) ☐ 無		☐ M S E形蓄電池 ☐ 長寿命M S E形蓄電池
☐ 無停電電源装置 (盤番号)	今回 組 全体 組	高調波対策 ☐ 有 (PWMコンバータ付インバータ) ☐ 無	☐ 1 0 分 ☐ 3 0 分	☐ M S E形蓄電池 ☐ 長寿命M S E形蓄電池
■ 汎用U P S (UPS)	今回 1 組 全体 1 組		■ 1 0 分 ☐ 3 0 分	メンテナンスバイパス回路 ■ 有 (別 盤) ☐ 有 (本体付属)
☐	今回 組 全体 組			
☐	今回 組 全体 組			

その他

- ・ 対象負荷は各章の共通事項や各機器項目等を参照する。
- ・ 特殊電源設備の容量は、標準的な負荷容量を用いて算出したものである。受注者が容量計算を行うにあたり、実施設計時の容量計算書を参考に、実際に設置する負荷容量を基に計算し、担当者へ報告する。
- ・ 負荷のクレストファクタを考慮した適正な容量とする。
- ・ 直流電源装置及び無停電電源装置に使用する蓄電池は、温度条件を考慮した適正な容量とする。

2.1 工事範囲

工事範囲は、以下のとおりである。

1 共通事項

■ 機器据付

□ 現場盤等基礎築造工

■ 配線工事

□ 配管

HIVE配管工事の適用場所は下記による

□ 屋内露出部分 □ 特に腐食進行が著しい場所の屋外露出部分
(場所：)

■ 既設関連工事（詳細は下記による）

□ 盤増設

□ 既設盤の機能増設

■ 配線接続（既設盤等)

□ 別途機械設備から支給される制御装置等
()

□ 防火区画貫通部処理 □ 新設 □ 補修

□ 建築電気設備関連の配線工事

2 屋外工事

□ 受電引込柱建柱

■ ケーブル布設

□ 架空電線路

□ 地中電線路布設

□ 掘削・埋め戻し等土工事

□ マンホール・ハンドホール築造

3 盤架台・床工事

☐ フリーアクセスフロア築造

材質

- ☐ アルミ製
- ☐ その他 ()

表面仕上材

- ☐ 帯電防止タイル
- ☐ その他 ()

支持脚

- ☐ 耐震型フリーアクセスフロア認定品
- ☐ その他 ()

施工場所

- ☐ 電気室
- ☐ 監視室
- ☐ その他 ()

☐ 防塵塗装

- ☐ アクセスフロア内底部床面、側面
- ☐ ボーダー部含む

☐ ボーダー部帯電防止タイル

☐ 巾木施工（ビニル）

☐ コンクリート床築造

施工場所

- ☐ 電気室
- ☐ 監視室
- ☐ 発電機室
- ☐ その他 ()

☐ 防塵塗装

- ☐ ピット内（底面、側面）
- ☐ 床面

☐ 巾木施工（ビニル）

☐ ピット蓋築造

☐ 盤架台製作据付

- ☐ 電気室
- ☐ 監視室
- ☐ 発電機室
- ☐ その他 ()

4 受変電設備標準付属品

☐ 耐電ゴムマット (m)

☐ リフター（V C B、A C B、コンビネーションスイッチ等用）設置場所 ()

5 自家発関連工事

☐ 機器基礎築造工 (☐ エンジン基礎 ☐ その他主要機器基礎 ☐ 補機類基礎)

☐ 防塵塗装工 (☐ エンジン基礎 ☐ その他主要機器基礎 ☐ 補機類基礎)

☐ 防油堤築造

☐ 油槽、水槽等製作、据付（架台等含む。）

☐ ダクト工事（詳細は設計図面による。）

☐ 発電機室外工事（詳細は設計図面による。）

6 計装設備工事

☐ 外部警報出力工事

☐ ワンループコントローラ故障

☐ 放流流量故障

☐ A C / D C 電源装置電源断又はD C 2 4 V 電源断

7 接地工事

☐ 接地極板・接地棒の埋設

☐ 特殊工法による接地工事

☐ ボーリング接地

接地種別	:	
深度	:	
掘削対象土質	:	m
	:	m
	:	m

☐ ステップアース ()

☐ メッシュ工法 ()

☐ その他 ()

☐ ダミー水槽用A種接地工事

☐ インバータ用接地工事（単独接地極）

☐ 高速軸浮上式ターボブロア用接地工事（単独接地極）

☐ その他

8 撤去工事

■ 盤、機器等の撤去

☐ 上記基礎等の撤去（下記は除く）

()

■ 配管、配線類の撤去

※1 撤去対象物については、調書（機器等の名称、仕様、数量、写真等）を作成する。

※2 撤去対象物は、監督職員の指示する場所まで運搬する。

■ 本工事施設敷地内

☐ 本工事施設敷地外（施設名： 所在地： 地内）

9 石綿等含有材の事前調査・除去工事

石綿等含有材の従前の事前調査結果は下記のとおり。（含有の場合の詳細は図面による）

・ 防火区画処理の耐火被覆板	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施
・ 自家発電設備の保温断熱	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施
・ 帯電防止タイル	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施
・ 自家発電設備の内部（機器本体）	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施
・ ()	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施
・ ()	☐ 含有	☐ 非含有	☐ 調査未実施

☐ 石綿等含有材の調査（分析調査）

分析方法 ☐ JIS A 1481 ☐ ()

調査対象及び箇所 下記その他、詳細は図面による

()

☐ 石綿等含有材の除去工事

特定粉じん（石綿等）排出等作業（作業箇所・作業レベル、処分方法等は図面による）

工法 ☐ グローブバック工法

☐ その他 ()

1 0 仮設工事

次の仮設物の設置、試験、補修、解体等を行う。

☐ 仮設受変電設備

盤内に収納する機器は図面（単線結線図）による。

設置場所

☐ 屋内 ☐ 屋外

詳細は図面（平面図）による。

リース期間

日

仮設材料

☐ 含む（詳細は図面による） ☐ 含まない

その他

操作・表示等は運転操作方案を参照。

☐ 仮設発電機設備

電圧

☐ 6.6 kV ☐ 400V ☐ 200V ☐ その他（ V）

周波数

☐ 50Hz ☐ 60Hz

騒音レベル

☐ 85dB以下 ☐ その他（ dB以下）

使用燃料

☐ A重油 ☐ 軽油 ☐ 灯油

設置場所

☐ 屋内 ☐ 屋外

詳細は図面（平面図）による。

リース期間

日

仮設材料

☐ 含む（詳細は図面による） ☐ 含まない

その他

操作・表示等は運転操作方案を参照。

☐ その他仮設

内容

設置場所

☐ 屋内 ☐ 屋外

詳細は図面（平面図）による。

リース期間

日

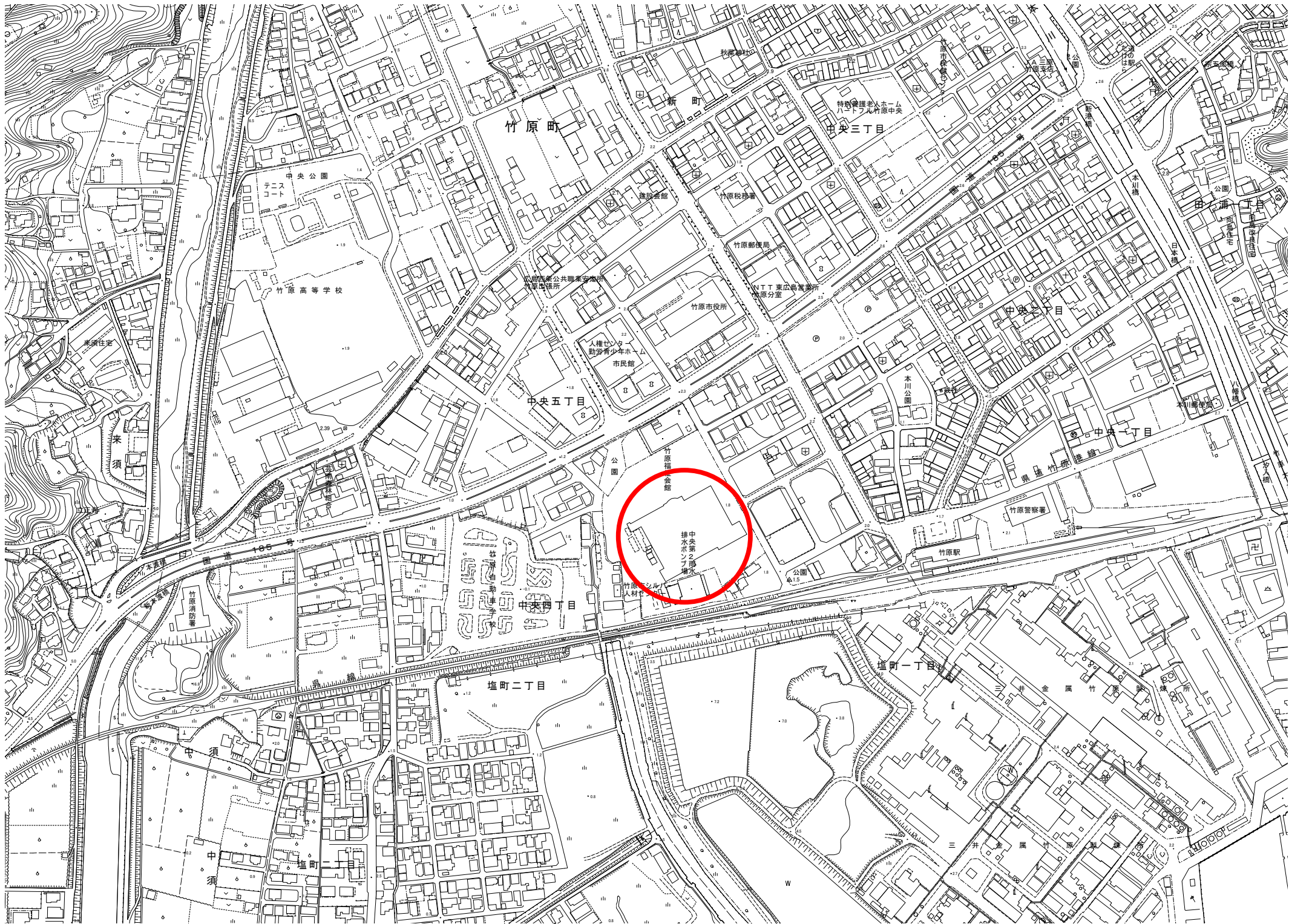
仮設材料

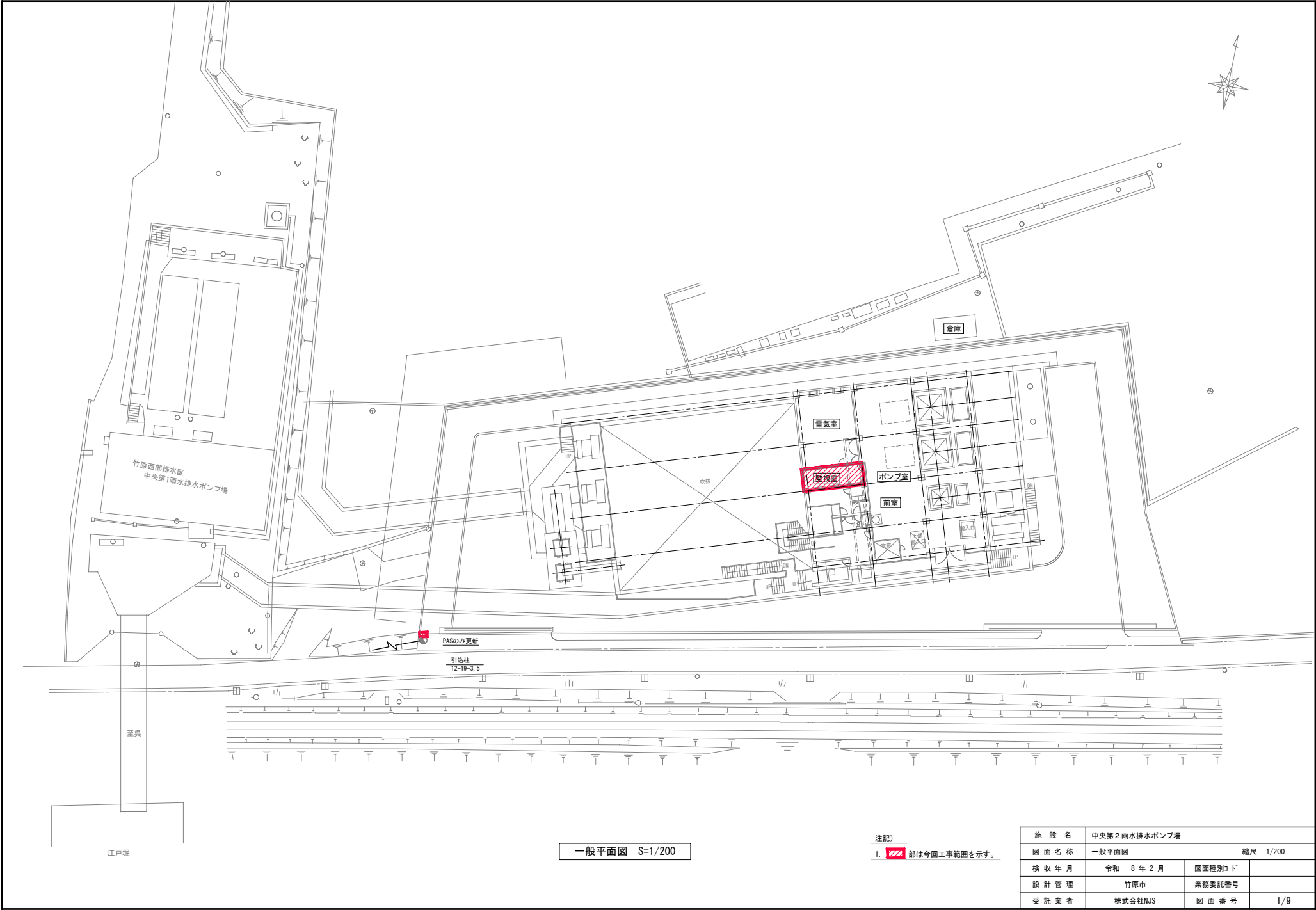
☐ 含む（詳細は図面による） ☐ 含まない

その他

操作・表示等は運転操作方案を参照。

1 1 その他

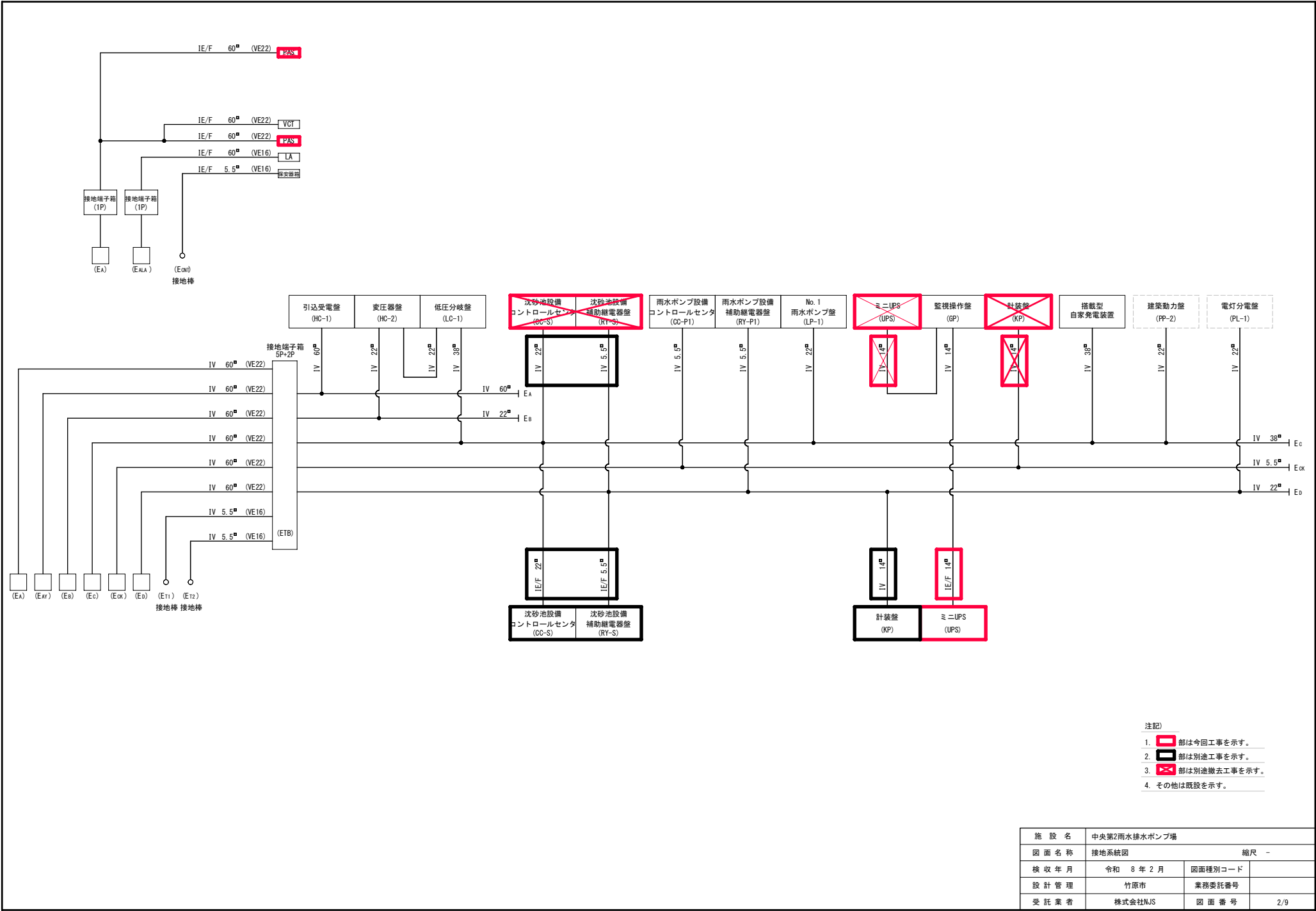




一般平面図 S=1/200

注記)
1. 部は今回工事範囲を示す。

施 設 名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図 面 名 称	一般平面図	縮尺 1/200	
検 収 年 月	令和 8 年 2 月	図面種別2-1'	
設 計 管 理	竹原市	業務委託番号	
受 託 業 者	株式会社NJS	図 面 番 号	1/9



注記)

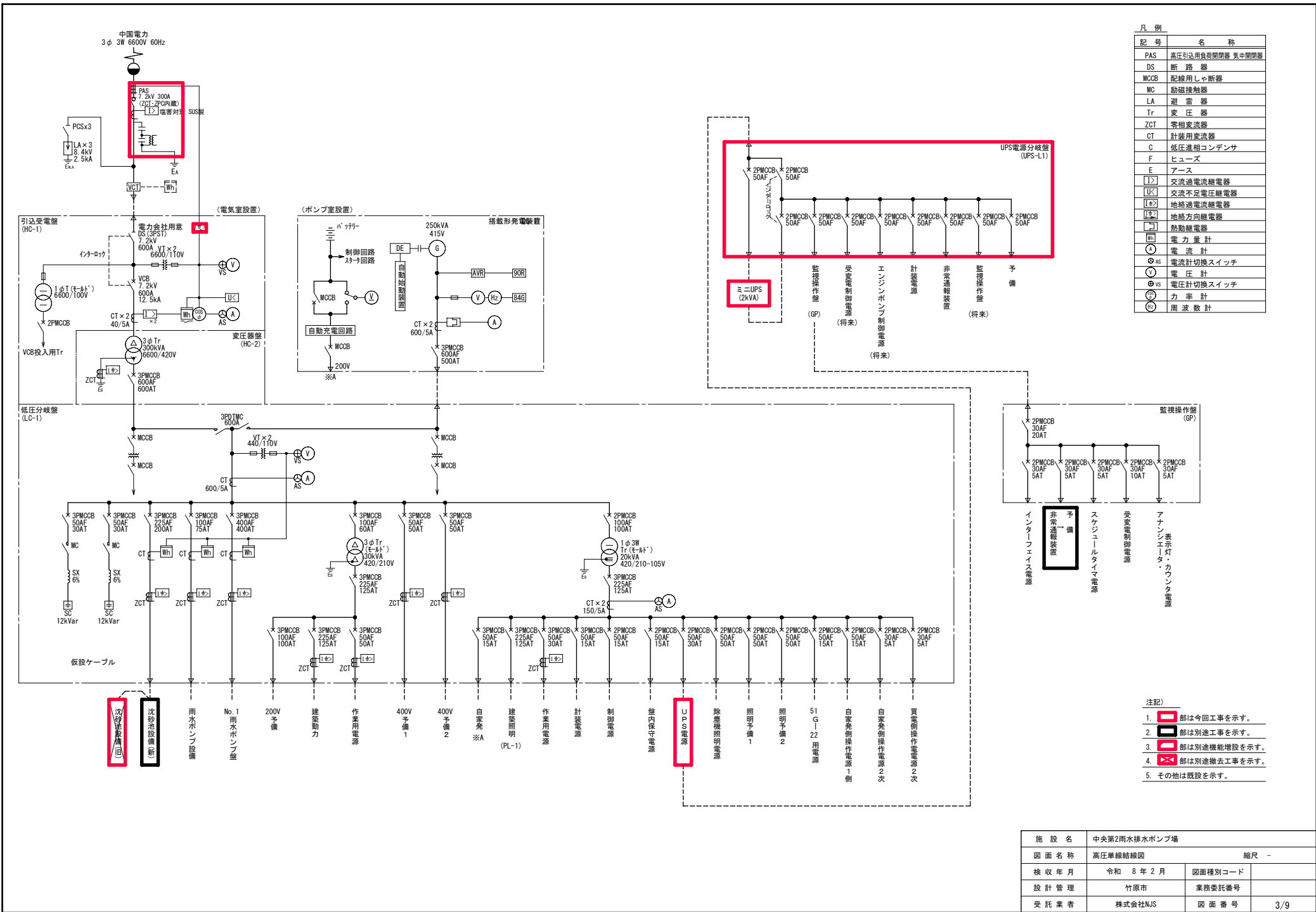
1. 部は今回工事を示す。

2. 部は別途工事を示す。

3. X 部は別途撤去工事を示す。

4. その他は既設を示す。

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図面名称	接地系統図	縮尺 -	
検収年月	令和 8 年 2 月	図面種別コード	
設計管理	竹原市	業務委託番号	
受託業者	株式会社NJS	図面番号	2/9



記号	名称
PAS	高圧引込用負荷開閉器 真中開閉器
DS	断 路 器
MCCB	配線用しや断器
MC	励磁接触器
LA	避 雷 器
Tr	変 圧 器
ZCT	零相変流器
CT	計装用変流器
C	低圧進相コンデンサ
F	ヒューズ
E	アース
[I>]	交流過電流継電器
[I<]	交流不足電圧継電器
[I+]	地絡過電流継電器
[I3+]	地絡方向継電器
[I]	熱動継電器
[m]	電 力 量 計
[A]	電 流 計
[AS]	電圧計切換スイッチ
[V]	電 圧 計
[VS]	電圧計切換スイッチ
[W]	力 率 計
[Hz]	周 波 数 計

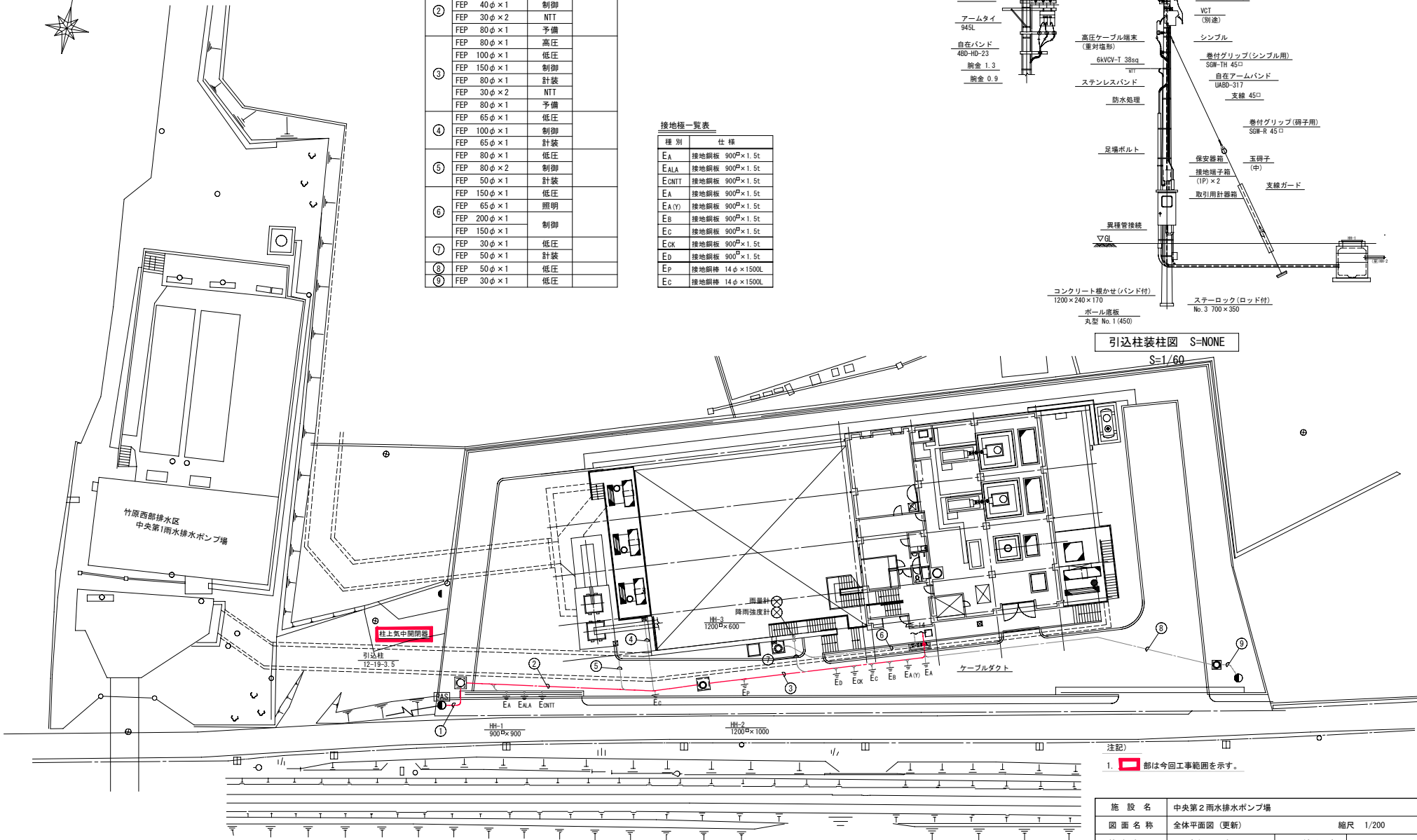
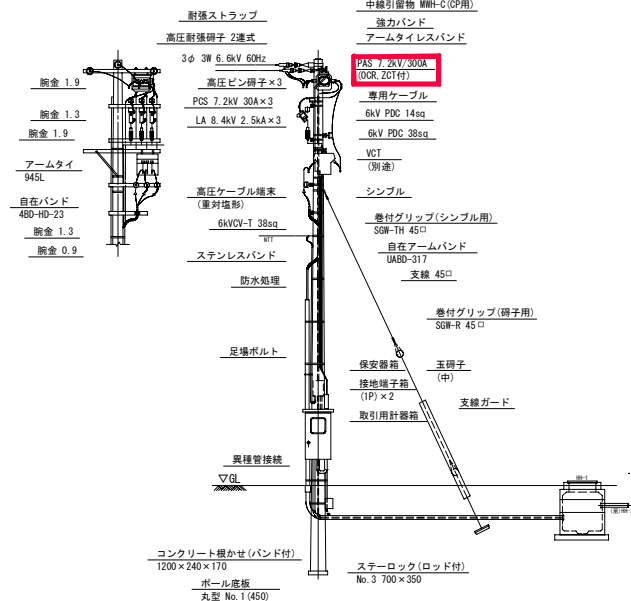


配管リスト

記号	配管サイズ	用途	備考
①	FEP 80φ×1	高圧	
	FEP 40φ×1	制御	
	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
②	FEP 40φ×1	制御	
	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
	FEP 80φ×1	高圧	
③	FEP 80φ×1	高圧	
	FEP 100φ×1	低圧	
	FEP 150φ×1	制御	
	FEP 80φ×1	計装	
	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
	FEP 65φ×1	低圧	
④	FEP 100φ×1	制御	
	FEP 65φ×1	計装	
	FEP 80φ×1	低圧	
	FEP 80φ×2	制御	
⑤	FEP 50φ×1	計装	
	FEP 150φ×1	低圧	
	FEP 65φ×1	照明	
	FEP 200φ×1	制御	
⑦	FEP 30φ×1	低圧	
	FEP 50φ×1	計装	
	FEP 50φ×1	低圧	
⑧	FEP 50φ×1	低圧	
	FEP 30φ×1	低圧	

接地極一覧表

種別	仕様
E _A	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _{ALA}	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _{ONTT}	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _A	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _A (Y)	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _B	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _C	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _{CK}	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _D	接地銅板 900 ^D ×1.5t
E _P	接地銅棒 14φ×1500L
E _C	接地銅棒 14φ×1500L



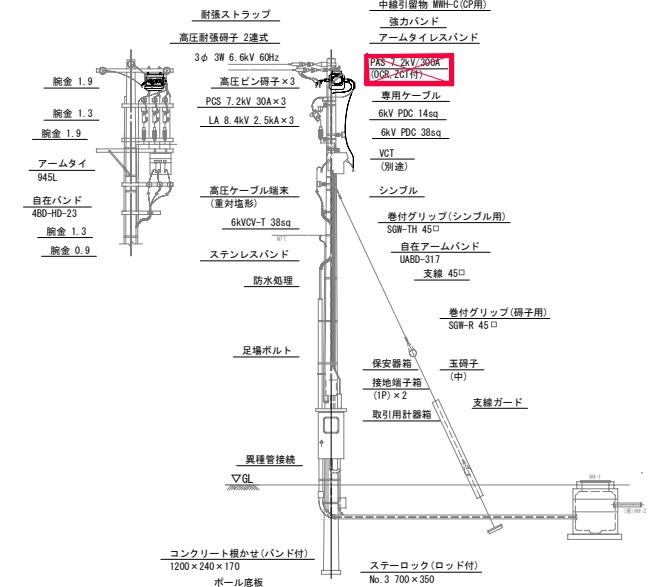
全体平面図 S=1/200

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場	縮尺	1/200
図面名称	全体平面図(更新)	図面種別	2-1'
検収年月	令和 8 年 2 月	業務委託番号	
設計管理	竹原市	図面番号	4/9
受託業者	株式会社NJS		

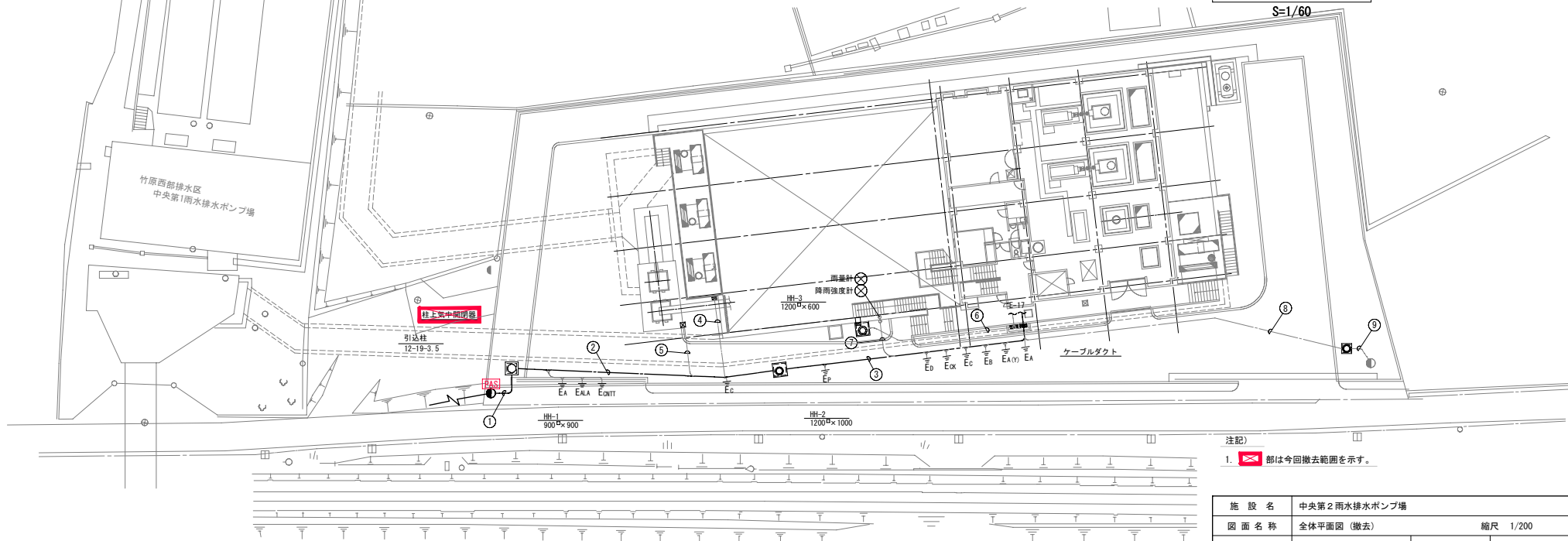


配管リスト			
記号	配管サイズ	用途	備考
①	FEP 80φ×1	高压	
	FEP 40φ×1	制御	
	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
②	FEP 80φ×1	高压	
	FEP 40φ×1	制御	
	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
③	FEP 80φ×1	高压	
	FEP 100φ×1	低压	
	FEP 150φ×1	制御	
	FEP 80φ×1	計装	
④	FEP 30φ×2	NTT	
	FEP 80φ×1	予備	
	FEP 65φ×1	低压	
	FEP 100φ×1	制御	
⑤	FEP 65φ×1	計装	
	FEP 80φ×1	低压	
	FEP 80φ×2	制御	
	FEP 50φ×1	計装	
⑥	FEP 150φ×1	低压	
	FEP 200φ×1	照明	
	FEP 150φ×1	制御	
	FEP 30φ×1	低压	
⑦	FEP 50φ×1	計装	
	FEP 50φ×1	低压	
⑧	FEP 30φ×1	低压	

接地極一覧表	
種別	仕様
EA	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EALA	接地銅板 900 ^D ×1.5t
ECNTT	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EA	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EA(Y)	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EB	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EC	接地銅板 900 ^D ×1.5t
ECk	接地銅板 900 ^D ×1.5t
ED	接地銅板 900 ^D ×1.5t
EP	接地銅棒 14φ×1500L
EC	接地銅棒 14φ×1500L



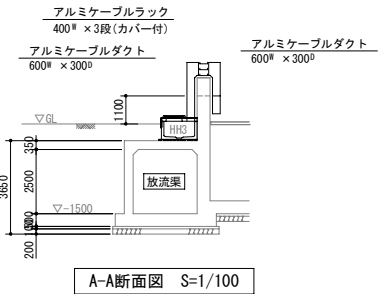
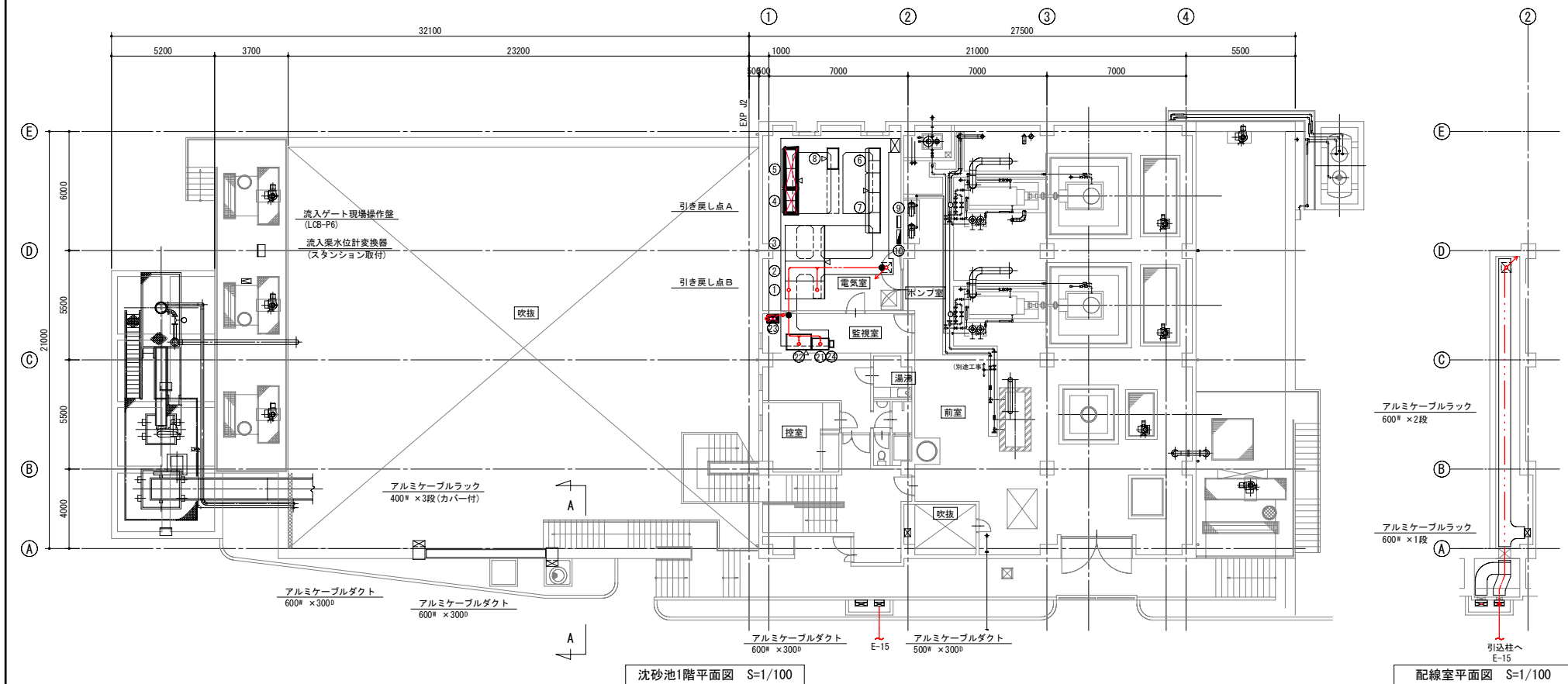
引込柱装柱図 S=NONE
S=1/60



注記)
1. 部は今回撤去範囲を示す。

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図面名称	全体平面図 (撤去)	縮尺 1/200	
検収年月	令和 8 年 2 月	図面種別	コト
設計管理	竹原市	業務委託番号	
受託業者	株式会社NJS	図面番号	5/9

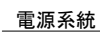
全体平面図 S=1/200



機器一覧表				
番号	名称	記号	備考	
①	引込受電盤	HC-1	既設	
②	変圧器盤	HC-2	既設	
③	低圧分岐盤	LC-1	既設	
④	沈砂池設備コントロールセンタ	CC-S	別途工事	
⑤	沈砂池設備補助継電器盤	RY-S	別途工事	
⑥	雨水ポンプ設備コントロールセンタ	CC-P	既設	
⑦	雨水ポンプ設備補助継電器盤	RY-P	既設	
⑧	No.1雨水ポンプ盤	LP-1	既設	
⑨	接地端子箱	ETB-1	既設	
⑩	電灯分電盤	PL-1	既設	
⑪	計装盤	KP	別途工事	
⑫	監視操作盤 ※非常通報装置内蔵	GP1	撤去	
⑬	ミニUPS	UPS	撤去	
⑭	バトロイト制御盤	***	別途工事	

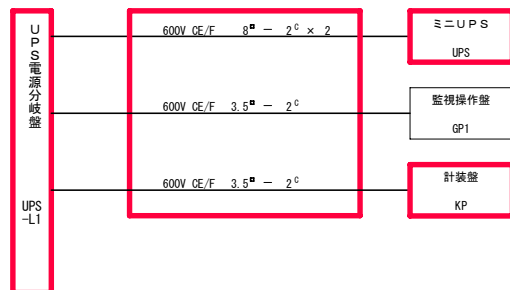
注記)
1. 部は今回撤去範囲を示す。
2. 部は別途撤去範囲を示す。

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図面名称	1階平面図 (撤去)	縮尺	1/100
検収年月	令和 8 年 2 月	図面種別	2-1
設計管理	竹原市	業務委託番号	
受託業者	株式会社NJS	図面番号	6/9

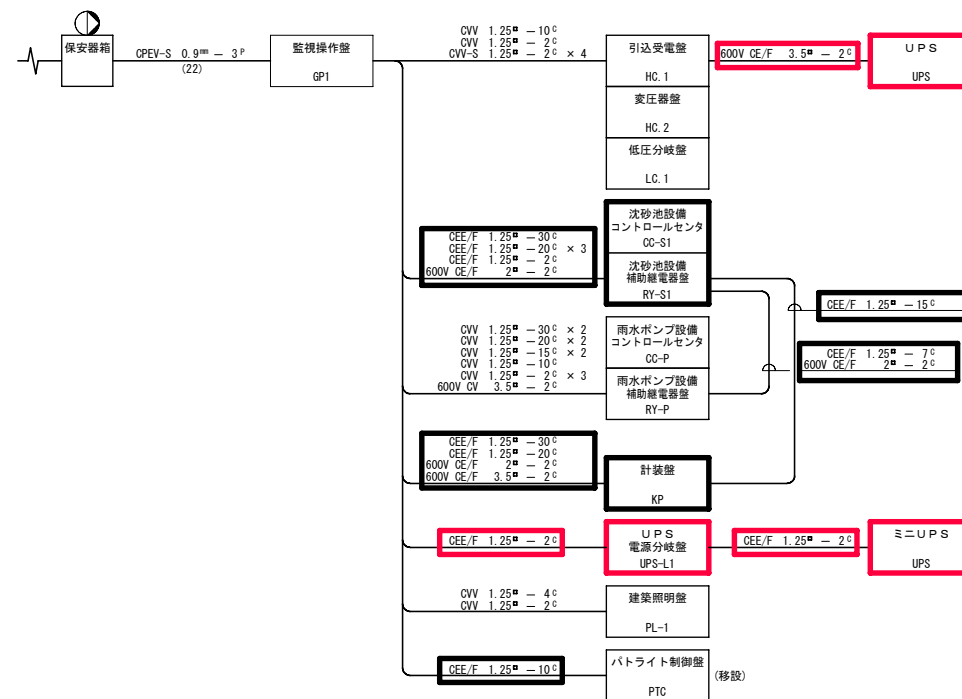


1.  は今回撤去範囲を示す。
2.  は別途撤去範囲を示す。

施 設 名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図 面 名 称	配線系統図(撤去) (1)		縮 尺 一
検 収 年 月	令和 8 年 2 月	図面種別「コ」*	
設 計 管 理	竹原市	業務委託番号	
受 託 者 者	株式会社NJS	図 面 番 号	7/9



電源系統

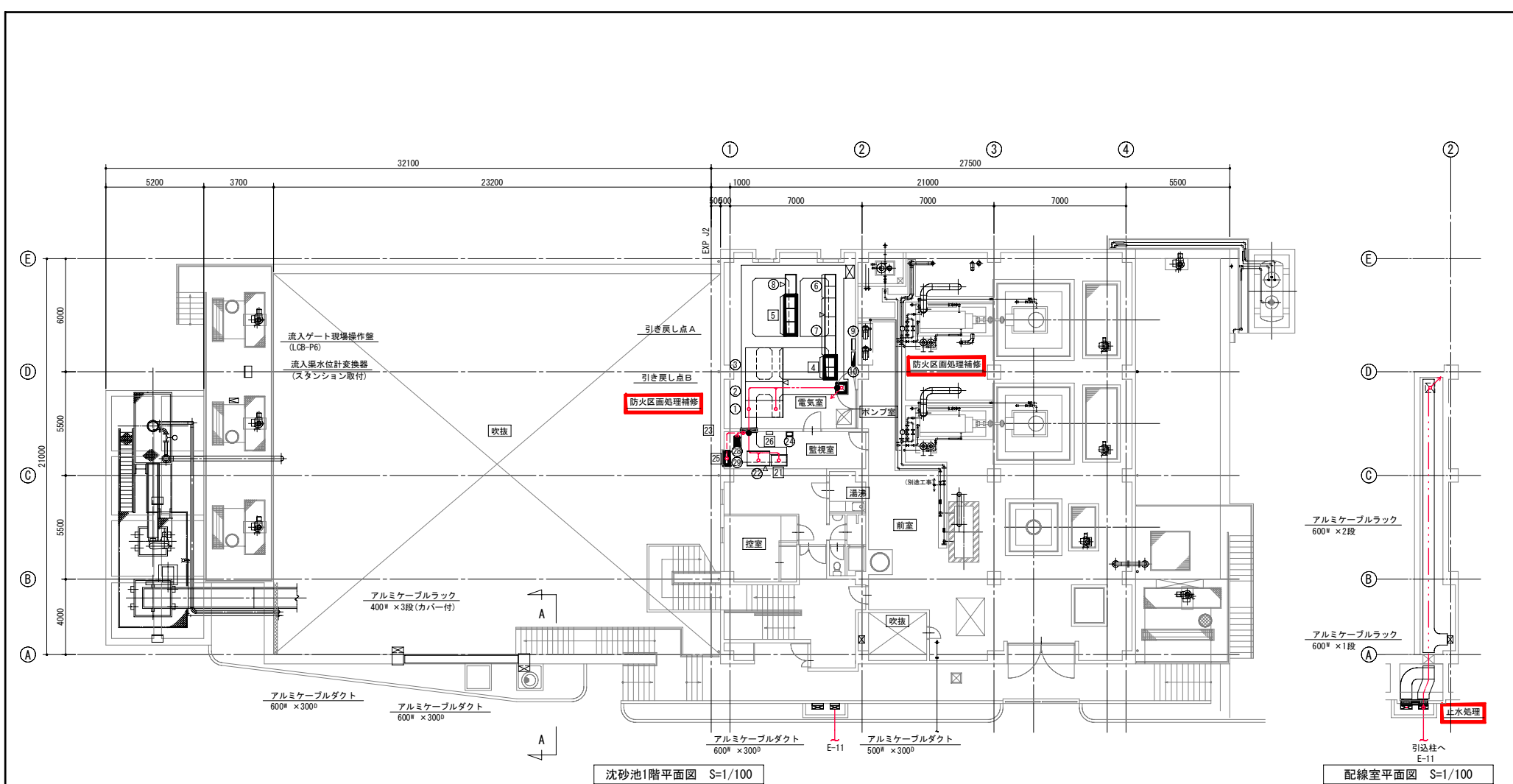


制御系統

注記)

1. ☐ 部は今回工事を示す。
2. ☐ 部は別途工事を示す。

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図面名称	配線系統図（更新）（1）		縮尺 ー
検収年月	令和 8 年 2 月	図面種別 [※]	
設計管理	竹原市	業務委託番号	
受託業者	株式会社NJS	図面番号	8/9



沈砂池1階平面図 S=1/100

配線室平面図 S=1/100

機器一覧表

番号	名称	記号	備考	番号	名称	記号	備考
①	引込受電盤	HC-1	既設	4	沈砂池設備コントロールセンタ	CC-S1	別途工事
②	変圧器盤	HC-2	既設	5	沈砂池設備補助継電器盤	RY-S1	別途工事
③	低圧分岐盤	LC-1	既設	21	計算盤	KP	別途工事
				23	ミニUPS	UPS1	今回
				25	UPS電源分岐盤	UPS-L1	今回
				26	非常通報装置		別途工事
⑥	雨水ポンプ設備コントロールセンタ	CC-P	既設				
⑦	雨水ポンプ設備補助継電器盤	RY-P	既設				
⑧	No.1雨水ポンプ盤	LP-1	既設				
⑨	接地端子箱	ETB-1	既設				
⑩	電灯分電盤	PL-1	既設				
22	監視操作盤	GP1	既設				
23	バトライト制御盤	***	別途工事				

注記

1. 部は今回工事を示す。
2. 部は別途工事を示す。

更新(将来工事)

施設名	中央第2雨水排水ポンプ場		
図面名称	1階平面図(今回)	縮尺 1/100	
検収年月	令和 8 年 2 月	図面種別コード	
設計管理	竹原市	業務委託番号	
受託業者	株式会社NJS	図面番号	9/9